

整骨 “夢” おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌

第11号

<http://www.seikotsu-oita.jp/>

FEB 2020



柔道整復師とは

昔から「ほねつぎ」「接骨師」として広く知られ、現在は高校卒業後、厚生労働省の許可した専門の養成施設（三年間以上上修）か文部科学省の指定した四年制大学で解剖学、生理学、運動学、病理学、衛生学、公衆衛生学などの基礎系科目と柔道整復理論、柔道整復実技、関係法規、外科学、リハビリテーション学などの臨床系専門科目を履修します。

国家試験を受け、合格すると厚生労働大臣免許の柔道整復師となります。

資格取得後は、臨床研修を行い、「整骨院」や「接骨院」という施術所を開業できます。また、勤務柔道整復師として病院や整骨院などで働くこともできます。

柔道整復師（国家資格）≠ 整体師、カイロプラクティック師（国家資格ではありません）

柔道整復師（国家資格）≠ あん摩・マッサージ・指圧師（国家資格）

柔道整復師の業務

整骨院や接骨院では、柔道整復師によって、骨・関節・筋・腱・靭帯などに加わる急性、亜急性の原因によって発生する骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷などの損傷に対し、手術をしない「非観血的療法」によって、整復・固定などを行い、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させる治療を行っています。

新会長挨拶



会長 江崎 博明

今回、令和元年度の定時総会において会長に就任する事になりました江崎博明です。

本会は会員・準会員約210名を有し、柔道整復師の本来の業務である外傷（骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷：肉離れ）の施術については会員全員で研鑽を積むために日本柔道整復接骨医学会を始め様々な学会への参加、また年4回の学術研修・保険指導会を開催しております。

多様化する医療・介護等のニーズに応えるため、スポーツや日常生活での痛みや、ケガの予防にもしっかり取り組み、公益事業として大分県整骨旗争奪少年柔道大会を始め、県内各地区での健康指導やスポーツ指導、国民体育大会・ラグビーワールドカップ等を始めとした全国規模の各種スポーツ大会での、救護活動・コンディショニング活動をさせていただいております。

災害時派遣事業としては、被災地における避難所等にて救護・コンディショニング・ボランティア活動を行い、県内・県外のたくさんの皆様に、より安心して安全な生活を送っていただけるようにしております。

本会は公益社団法人の認定を受けておりますが最近、業界内の公益社団法人以外の一部の柔道整復師の不正な広告、不正な請求等により、業界全体が非常に厳しく見られているのが現状です。

令和の新年度も始まりました。時代は良くも悪くも経過して行きますが、受け継ぐもの、終わりにしなければならないもの、放置してはいけないもの、新年度の始まりの年度に思いをしっかりと定めて行く所存です。

これからも公益社団法人大分県柔道整復師会は、県民の心身の健全な発展・健康の維持増進・地域医療・地域活動・青少年の健全育成等に貢献するため、県民の皆様に真摯に向き合って様々な公益活動事業を行ってまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

【役員】

顧問	清田洋一
	加藤和信
相談役	西邑伊三郎
	河野靖久
会長	江崎博明
副会長	鎌田実信（保険部長）
	野田光広（総務部長・IT委員長）
	安東鉄男（柔道部長）
理事	首藤彰典（経理部長）
	前川羊介（広報部長）
	高橋祥三（福祉部長）
	尾林大生（生涯学習部長）
	加藤豪（学術部長）
監事	塩井卓広
	阿部幸広

【部員・委員】

学術部員	西原清
	重石雄大
	江藤公博
	池永武広
	坂本留美
	安東拓哉
	河合竜之介
	笠木和久
	森一馬
柔道委員会	森政彦
	酒井裕治
	永竿茂男
IT委員会	前川羊介
	尾林大生
	阿部幸広
	南徳泰清
	西原昭仁
	佐々木正高
	藤本政充
	薬師寺敏男
	西村敏男



新執行部

令和元年度定時総会開催

令和元年5月26日(日)9:00よりトキ八会館にて、令和元年度定時総会が議決会員数183名に対し、出席169名(委任状80名・欠席14名)のもと開催。先に大分県柔道整復師連盟の本年度総会を、議長は加藤和信委員長、議事録署名人に中村清造・加藤豪会員の指名のもと開催。江崎博明委員による事業、決算等報告、塩井卓広監事による監査報告後、4議題が無事承認された。次に定時総会を開催、物故者黙祷、新入会員紹介後、議長に野田光広理事、副議長に江崎博明理事を選出し、全10議題を慎重審議し無事承認された。続いて大分県柔道整復師協同組合通常総会、会務報告を行った。今年は役員改選があり、加藤和信会長、土谷恵一理事が勇退され、新理事に尾林大生・加藤豪会員が選出された。新会長に江崎博明理事、新副会長のひとりに安東鉄男理事が選任された。(新体制はP2参照)



江崎博明新会長



定時総会風景



参加会員による記念撮影

令和元年度臨時総会開催

令和元年12月15日(日)8:30よりレンブラントホテル大分、久住の間において令和元年度臨時総会を開催。議決会員数183名に対し、出席165名(委任状85名欠席18名)のもと全2議題を慎重審議し無事終了した。続いて工藤鉄男日整会長による演題「日整と柔道整復師の進むべき道と未来像」を講話していただいた。会員にとって大変有意義な講話となった。



安東鉄男議長



臨時総会風景



工藤鉄男日整会長

第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会

令和元年11月23、24日、東京有明医療大学にて第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会を開催。「スポーツと伝統医療 -東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて-」を大会テーマに全国各地より大勢の会員が参加し、大会を盛り上げた。大会では特別講演、シンポジウム、各種セミナー、フォーラム等が開催され、大分大学医学部名誉教授、大分医学技術専門学校校長の島田達生先生が「柔道と畳文化」の演題で柔整・接骨史分科会フォーラムが行われた。

雨のなか参加された皆様、大変お疲れ様でした。



参加会員

加藤和信先生 旭日双光章受章 祝賀会



加藤和信 先生

令和元年12月15日(日)10:30よりレンブラントホテル大分にて加藤和信先生旭日双光章受章祝賀会を130余名の、ご来賓、ご家族、会員の参加者のもと盛大に開催されました。本会前会長である先生が本会、業界関係団体等の要職を歴任され、地域医療の推進と業界の発展にご尽力された功績により保健衛生功労の栄えある「旭日双光章」を受章されました。このことは本会としても誉れ高いことです。今後とも益々のご活躍をお祈り申し上げます。

【主な役職・ご功績】

昭和56年 加藤整骨院開業
平成10年～平成22年 本会理事
平成22年～平成31年（令和元年）本会会長
令和元年5月～現在 本会顧問

日本柔道整復師会九州ブロック会理事
大分県柔道整復師施術療養費審査委員

【表 彰】

平成10年2月15日
大分県柔道整復師会 学術功労感謝状
平成20年2月10日
大分県柔道整復師会 会長表彰
平成23年4月24日
大分県柔道整復師会 30年勤続表彰
平成24年11月3日
大分県知事表彰 社会福祉保健功労

平成25年3月24日
厚生労働大臣表彰 労災補償行政関係功労
平成25年3月24日
日本柔道整復師会 会長表彰（役員）
平成31年3月7日
厚生労働大臣表彰 柔道整復業務功労

祝 加藤和信顧問帰一賞受賞

令和元年6月23日、日本柔整会館にて令和元年度日整通常総会が開催され、日整最高の栄誉賞として贈られる「帰一功労賞」を9名に、そのひとりに本会顧問の加藤和信先生が授与された。

《帰一賞》とは、昭和46年に柔道整復師業界の発展に著しく寄与した会員に送られる日整最高の栄誉賞として制定され、これまでの受賞者を通算すると283名となる。



国歌斉唱



加藤和信先生ご夫妻



乾杯 近藤稔先生



衛藤晟一先生



代表発起人 あいさつ



衛藤征士郎先生



岩屋毅先生



磯崎陽輔先生



三河明史 国東市長



工藤鉄男 日整会長



三橋裕之 日整総務部長



松岡保 九プロ会長



野田光広 本会総務部長



お孫さんとともに



Cat's Eye (キャッツアイ)



祝舞 三浦三知代様



万歳三唱 萩原正和 日整副会長



発起人一同

「受章者 謝辞要旨」

この度はからずも令和元年春の叙勲に際しまして保健衛生の功勞により旭日双光章の榮譽に浴しました。去る5月22日県庁において勲記・勲章の伝達を受け24日引き続き皇居に参内して天皇陛下に拜謁の榮を賜りました。もとより受章に見合う何ら功績もない私が榮を賜ることに恐縮しつつも公益社団法人大分県柔道整復師会での活動が評価されたことに感激、会員や共に役職を務めた仲間へ感謝しているところであります。さらに内閣府特命担当大臣衛藤晟一様を代表発起人にいただきこの様な祝賀会を催して頂き身に余る光榮と感激しております。

いくら考えましても自分には受章に見合うような業績は思い当たりません。四十年余に及び柔道整復師として、只普通に仕事に取組み普通に柔道整復の業務を当たり前のことのように行って来たに過ぎません。

私はこのことで改めて知ることができました。自分は素晴らしい職業を選んだのであり、ただ普通にあたりまゑに柔道整復業に取り組んで来たことで地域の人々に保健衛生の貢献ができ、受章の榮に浴することができました。

私が真摯に柔道整復業務に取り組めましたのも諸先輩方始めとした地域の方々より頂きましたご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝に感じている次第でございます。またこの様な祝賀の会を催してくれましたことに感謝し、今後とも一層精進いたす所存ですので今後とも宜しくご指導お願い致します。

このような受章に結び付くような業務に専念出来たのにはもう一つの支援がありました。それは家族の協力があつたことであります。特に妻には多大な負担をかけて来たことに感謝しております。照れくさく、これまで一度も感謝意を伝えたことはありませんでした。私事ではありますがこの場で「ありがとう」と伝えさせていただきます。

本日はこのような祝賀会を催していただいたことを重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

日本柔道整復師会 社団法人設立65周年記念式典

平成31年3月7日(木)午後1時、パレスホテル東京にて全国より300余名の会員参加のもと開催。本県から厚生労働大臣表彰受賞者(柔道整復業務功労者)として加藤和信前会長が同じく(労災補償行政関係功労者)として鎌田実信副会長が受賞。日整会長感謝状受賞者として首藤彰典理事、永年業務精励会員表彰受賞者として宇都宮育郎前監事が受賞。本会にとって誉れ高いものである。続いて、厚生労働省医政局長 吉田 学氏による記念講演が行われた。



記念式典風景



記念講演



受賞者一同

柔道整復術公認100周年記念祝賀会

平成31年3月7日(木)パレスホテル東京にて、500余名の来賓、日整会員参加のもと開催。100周年に相応しいビデオによるオープニングセレモニーにより始まり安倍総理大臣によるビデオ挨拶に続き、ご来賓の日整顧問議員の先生方や業界関係各位の沢山のご祝辞をいただきました。非常に短い時間であったが盛会裏に終了しました。



会場風景



参加役員

柔道整復師臨床指導者講習会開催

平成31年3月30・31日両日にわたり、大分医学技術専門学校にて公益社団法人日本柔道整復師会、柔道整復師臨床実習指導者講習会を県内外の柔道整復師40余名参加し開催。臨床実習に必要な目標・基準・評価などについて、日整の長尾講師をはじめ各分野の専門講師による講義とGWをセットにした習熟度を上げるスタイルで行い、欠席などなく受講者全員に無事修了証書が授与された。



30日講義風景



31日講義風景



参加者集合写真

第48回日整九州学術大会宮崎大会開催

令和元年7月14日(日)シーガイアコンベンションにて、前日の前夜祭に続き上記大会が開催され、会員発表・特別講演が行われた。2年後の2021年に次回49回大会は本県で開催される。

特別講演Ⅰ「あなたを必ず幸せにする人生の幸福論」・・・中村伸一先生

特別講演Ⅱ「柔道整復師の地域包括ケアシステムへの関わり方」・・・三谷誉先生

本会から2編ポスター発表を行った。



参加会員一同



学術部一同



大会旗引き継ぎ式

「中学生の上腕骨外科頸骨折の超音波観察を継続した1症例」

大分県 主著者 江崎 博明 共著者 江崎 仁介

【はじめに】本骨折では骨端線損傷を併発し、週に1度の超音波観察と合計2回のX P検査を重ねた症例を報告する。

【症例】背負い投げで相手を投げようとした際に上から乗られ右肩部を強打し負傷。画像診断を依頼し右上腕骨外科頸骨折との診断を受けた。

【固定法】整復後に超音波観察を実施し、転位が除去された画像が見られた。固定材料に4裂さらし、オルテックス、厚紙副子、三角巾、枕子を使用した。

【経過】2日、内転転位が残存。再整復を行った。5日、皮下出血斑、腫脹に変化なし。9日、仮骨が確認できた。21日、転位の自家矯正を確認し、三角巾と枕子による固定とした。また肩関節の自動運動不能、転位防止の為、肘関節と肩関節の運動を禁止し等尺性運動と手指の運動を指導した。43日、三角巾を除去。肩関節の屈曲拘縮は改善し、P N Fを肘関節に行った。73日、X P検査を依頼し、転位が残存していた。3か月を経過し拘縮は除去され、超音波観察を行った結果、仮骨が見られ、疼痛消失し競技を開始し、4か月後競技に復帰した。

【考察】厚紙副子と枕子を併用し3か月の期間にて練習を再開することが出来た。軽量であり、負担も減少し有効であった。

【結語】運動療法の改善で、施術期間の短縮につなげていきたい。超音波観察は週に1回行ったが整復前の記録が残せておらず、今後の課題とした。

「発達運動学的視点からの「こどもの体幹トレーニング」

～赤ちゃんの動作で、体の支えと動きの土台を強くする～

大分県 西原 清

【はじめに】子どもの運動能力の低下の問題を、幼少期からスポーツを行うことで解決しようとするものが多く進められている。しかし改善が必要な主要要素は、スポーツの運動の不足ではなく、乳児期に発達する「姿勢制御の基本機能」や幼児期に発達する「基本動作」や「複雑な動作」などの低下や、五感を始め、姿勢の維持・調節に関わる「前庭覚」や筋肉や関節の動きを感知する「固有覚」などの要素の低下を改善することが必要であると考えている。筆者はこれらを考慮した体づくりを指導しており、その基礎となる「赤ちゃんトレーニング」の概要を報告する。

【トレーニングの理論背景】発達運動学を基にしたチェコのリハビリのDNS（動的神経筋安定化）の理論や、呼吸や横隔膜と体感や四肢の姿勢や運動連鎖を重要とするP R I、日本コアコンディショニング協会の発育発達のメソッドなどを指導にとりいれている。

【赤ちゃんトレーニングのポイント】赤ちゃんトレーニングは、仰臥位、腹臥位、腹ばい、四つ這い、座位、高ばい、膝立ち、立位などを、発達運動学的に支持点や姿勢や動きなどのポイントを考慮して指導する。特に仰臥位での腹部の安定性の獲得を非常に重要に指導している。

【まとめ】こどもの運動能力の低下に対して基本的な運動の質の改善を目的とした「赤ちゃんトレーニング」の概要を紹介し、腹部の安定性の善し悪しが、体幹と四肢の連動した支持や可動性の運動能力に大きく影響していることなどを報告した。

ラグビーワールドカップ2019日本大会in大分 ニュージーランド代表オールブラックスの チームコンディショニングを体験して。

理事 尾林大生

令和元年9月26日(木)夕方、我々(公社)大分県柔道整復師会の参加メンバーは別府杉乃井ホテルロビーに集合しました。ワールドカップということもあり選手に対する箝口令と厳戒態勢で、登録メンバーの確認とスケジュール管理が行われることもあり緊張感がある現場となりました。本会は野田副会長はじめとする東京・宮崎あわせて社団会員9名、他団体から2名、合計11名で参加しました。

9月29日(日)には江崎会長と加藤顧問をはじめとする京都・宮崎・熊本を含む社団会員10名、他団体から2名、合計12名の参加でした。

オールブラックスのマネージャーがスケジュールを組んでいて、1時間ごとに3選手を無駄なく一人が担当するように管理されており、全員が休みなくコンディショニングに入りました。

当初、選手をバットコンディションにしないためオイルマッサージだけをする様に言われていました。しかし、選手の要望で強めのドライマッサージ及び柔整施術もお願いされました。最初、選手は恐々と患部や部位ごとの強弱に注文をつけていたのですが、打撲・捻挫の部位に対する扱いは我々が慣れていたため、その場で臨機応変に施術に取り組みました。短時間のうちに選手を納得させられる妙は柔整師の真骨頂だということを再確認させていただきました。

選手やマネージャーの方からも高評価をいただき急遽10月3日(木)に追加でコンディショニングの依頼があり本会会員だけの10名の参加にて行いました。選手にとっても喜ばれ、順番でもめることや、受けられなくて肩を落として帰られる選手もいるくらいでした。

これから東京オリンピック・パラリンピックなど大きな大会がある中、柔整師としてコンディショニング等で活躍できるように皆で協力して受けていきたいものです。



9月26日参加者



パブリックビューイング会場



大分駅周辺



9月29日参加者

第21回行橋～別府100キロウォーク 救護ボランティアを終えて

理事 加藤 豪

2017年第19回大会より、行橋～別府100KWに公益社団法人大分県柔道整復師会では救護ボランティア活動の参加を始め、本年度で3年目を迎えました。

第21回大会は、令和元年10月13日早朝4：30～12：00 日出町CP(チェックポイント)にて、出場選手の救護ボランティア活動を行いました。今回参加者は、江崎博明会長、前川羊介理事、江藤公博・梅崎幸次・笠木和久・西村敏男・佐矢本弘志・中島祥太・江田全秀会員と後藤史裕・江崎仁介・三ヶ尻春菜準会員、加藤豪の13名と、福岡県柔道整復師会員2名となりました。

この救護の目的は100KWを完歩させることです。出場選手の中には、筋肉・関節を傷めたり、足底で擦過症によるマメを発症したり、中には動けなくなる方もおられました。

本会員は、筋肉、関節に対しての徒手療法やテーピングを行い、またマメなどの擦過傷に対しては角綿などを使用してテーピング処置なども行いました。救護者人数は250名に及び、施療・処置を行う事や会話することで出場選手の完歩という目標に貢献できたのではないかと思います。

3年前私が初めて救護させて頂いた出場選手の方から「3年前はここで処置をして頂いたから、GOAL(完歩・時間内)できました。今年もここで処置をして頂いたら完歩できます。」と、声を掛けてもらいました。

大変有意義な、救護ボランティアだと改めて感じ、本会の活動の一員として参加する事を誇りに感じました。また公益事業として参加会員皆様のご協力のおかげで無事に終える事ができましたことを感謝いたします。

来年度も多くの会員先生方の参加をお待ち申し上げます。

最後に、令和元年10月12日(土)～13日(日)100KW開催中の台風19号によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、ご遺族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。被害にあわれた地域の皆様に謹んでお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。



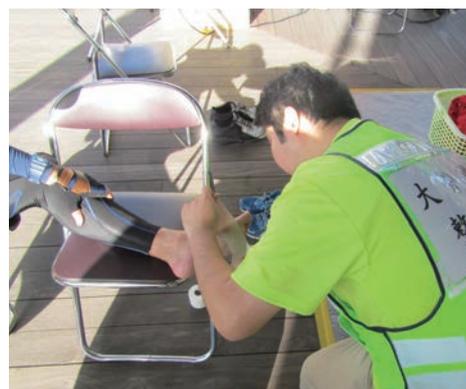
施術後のメンタルケア



日の出前より施術開始



参加会員



裂傷の応急処置

第69回 別府大分毎日マラソン救護参加

理事 加藤 豪

- 【日 時】 令和2年2月2日(日) 11:30~17:30迄
- 【場 所】 大分県市営陸上競技場内の第1医務室・第2医務室・トラックゴール地点
- 【参加会員】 加藤豪・尾林大生・後藤史博・江崎仁介・三ヶ尻春奈
- 【服 装】 上衣は別大マラソンメディカル救護ジャンパー。
下衣は動きやすい服装。
- 【備 品】 テーピング・ハサミ・消毒液・包帯・角綿を準備。その他の手袋・マスクは大会事務局より配布される。施術ベッド、その他は大会本部が準備した。
- 【施術内容】 ※医師・看護師の指示のもと、救護を行う
※出場者の救護、搬送（タンカ・ストレッチャー・車椅子）
※脱水症状、低体温症への処置
※転倒した負傷者への擦過傷処置、捻挫処置、テーピング処置、絆創膏処置
※筋性痙攣、筋性収縮を起こした者への柔整徒手及びストレッチ
※救護者への精神的安心感の提供

令和元年12月1日(日)にホルトホール大分で「大分県スポーツ学会第11回学術大会」において、本会が「ラグビーワールドカップ（RWC）2019ニュージーランド（NZ）代表のリカバリーケア」及び「第21回行橋～別府100キロウォーク救護活動報告」の2編のポスター発表を行った。

その際、大分陸上競技協会医務係担当者の評価を頂き、今回本大会の救護参加となり、担当者と江崎博明会長・加藤豪が陸上競技場を視察、打ち合わせを重ね準備を進めた。初めての参加ということもあり、医師、看護師の指示のもとに活動を行う形であった。当初は上手く連携が出来るか不安もあったが、救護を行ううちにすぐに連携は取る事は出来た。

参加ランナーで救護されるほとんどの者は市民ランナーであった。ゴール地点で横になるうちに、脱水症状、低体温症、そして筋性痙攣をおこすというのがほとんどで、またロッカールームに歩く途中で倒れる者も多かったです。

したがってゴール地点での処置、対処が早ければ早いほど症状は軽く、対処が遅ければ遅いほど症状は重くなった。

医師・看護師と連携し救護活動を行う事が出来るのを確認し救護者のほとんどが筋・関節などの急性外傷に似通った症状であり、その多くの対処を柔道整復師に任された。またゴール地点での柔道整復師（後藤史博・江崎仁介）の懸命且つ適切な処置対応が、担架・ストレッチャーでの搬送数を減らし、大分陸上競技協会医務係より感謝された。

第1医務室・第2医務室でも医師より参加者への処置を依頼される事が増え全体的に柔道整復師の信頼とアピールに繋がったと思う。

令和最初の大会でもあり第69回別府大分毎日マラソンという伝統ある大会に参加し、救護活動を行えた事が今後の本会公益活動の一環として実るように考える。



参加会員



加藤豪理事



三ヶ尻春奈会員



ゴール地点の後藤史博・江崎仁介会員



尾林大生理事

理事 尾林大生

令和2年2月2日に開催された第69回別府大分毎日マラソン大会の救護に参加しました。大分県スポーツ学会第11回学術大会にて発表した「第21回行橋～別府100キロウォーク救護活動報告」や「ラグビーワールドカップ（RWC）2019ニュージーランド（NZ）代表のリハビリケア」の取り組みが大変良い評価を受けました。そのため本大会の救護責任者の方から、ぜひ救護に参加していただけないかとのオファーを受け公益社団法人大分県柔道整復師会として加藤理事を中心に5名のチームで救護に参加しました。

はじめは「医師と看護師の支持を必ず仰いで手助けをしてください、そしてこまごました雑用や担架やストレッチャーを運ぶ力仕事を担当してください」ということでした。

私たちは柔道整復師の業とは違うオファーでしたが、初めての参加でしたのでなんでもお手伝いしますよという気持ちで率先して雑用や力仕事を行いました。

時間の経過と共に、看護師さん達とコミュニケーションもとれるようになり、バイタルチェックや擦過傷などの創傷ケアは看護師さんが処置し、柔道整復師が筋痙攣などや捻挫の対処するようになってきました。

正午にマラソンがスタートし14時には第一走者がかえってくるのでそこからだと構えていましたが招待ランナーや3時間を切るランナーはほとんど来室がありませんでした。

しかし、15時から脱水症状の選手が次々とやってきました。私たちが担当していた第二医務室はベッドが10台でしたが17時までの殆どの時間満床でした。

そんな慌ただしい状況でしたので効率を求めていくうちに、ボランティアの高校生に記録を記入してもらい、看護師さんがバイタルチェックと問診している間に私たちが身体を温める準備をして筋痙攣したところを施術していくという流れがおのずと生まれてきました。

医師からも信頼が上がり、手に負えない筋痙攣の選手が現れると率先して頼まれるようになりました。なかなか痙攣がとれない選手の痙攣が解けた時は医師とハイタッチするほどになりました。

最後に責任者の方から、「去年までは筋痙攣の対処がうまくいかずベッドの数が足りなくなっていたが回転率が上がり治療を待つ選手がいなかったことが助かった。何より去年はゴール地点で筋痙攣起こした人を全員担架で医務室に送っていたが、ゴール地点に柔道整復師が2人いてくれたのでその場で筋痙攣の対処ができたので医務室までいなくてよい選手が多くて本当に楽でした。」と、おっしゃられていたので参加した甲斐がありました。

今回の経験で脱水症状の場合に身体が冷えると筋痙攣を治しても直ぐに戻ってしまうということが勉強になりました。それとやはり柔道整復師は救護現場においてとても頼りにされるということを学びました。

これからも多く救護現場で医師や看護師と連携を取ることで柔道整復師の認知と地位向上に寄与出来たらよいと考えています。

大分県スポーツ学会第11回学術大会

令和元年12月1日ホルトホール大分にて

シンポジウム オリンピック・パラリンピックと大分

日本のオリンピック初参加に尽力した嘉納治五郎

安東 鉄男

公益社団法人 大分県柔道整復師会 副会長 講道館柔道 7段

1882年講道館柔道を創始したことで知られる嘉納治五郎は、東京高等師範学校（現筑波大学）校長を25年間勤めた。1909年にアジア初の国際オリンピック委員会（IOC）委員となり、1912年、第5回ストックホルムオリンピックに幾多の困難を乗り越え、僅か陸上競技2名の選手を率い初出場させる。2名ともに大敗北という結果に終わる。しかし、それは、わが国スポーツ界の「黎明の鐘」となったのである。

嘉納は、1860年兵庫県東灘区で生まれる。1877年、東京大学在学中、天神真楊流柔術に入門、後に起倒流柔術も学ぶ。天神真楊流は、当身技（突き、蹴り）や関節技、絞め技など相手を仕留める敵への殺傷や捕縛を目的とし、危険性が高くその技法を総称して「殺法」と呼ばれていた。蘇生法や外傷の治療法である「活法」にも優れていた。小説「姿三四郎」のモデルで、小兵ながら後に講道館のエースとして得意技「山嵐」で活躍した天才西郷四郎も同流派出身である。

教育者としての嘉納は、教育及び柔道修行の目的に「精力善用」「自他共栄」を掲げた。精力は善い行為として発揮されるべきもので、他者とともにお互いに融和協調して共に生き栄えることが大切であり、相手はむしろ自らの向上に欠くことのできない存在、パートナーである。新しく創始した講道館柔道には教育的価値が非常に高いと説いた。

1894年、クーベルタン男爵はフェアプレイ精神・友情・連帯・平和社会の構築を掲げIOCを設立。1896年第1回アテネオリンピックが開催される。クーベルタン男爵は嘉納の教育者としての考えに共感し、嘉納にIOC委員の要請をした。

また、嘉納は国内外で教育及びスポーツの発展に尽力すると同時に、接骨術を担っていた柔道家にも手を差し伸べた。8世紀より伝承されてきた接骨術に対し、1874年（明治7年）、明治政府の医制改革により、「日本の医療を西洋医学に一本化する」という方針が出された。太古から明治初期まで我が国の医療の一端を担ってきた接骨術が、1885年（明治18年）に禁止された。大正期に入り、柔道家で接骨師の萩原七郎は柔道接骨公認期成会を結成し、萩原の師で講道館最初の十段となった山下義韶、天神真楊流門下で東京帝国大学医師の三浦謹之助博士、同大学整形外科医師の金井良太郎博士、日露戦争の日本海海戦で世界に名を馳せた東郷平八郎元帥等のバックアップがあった。そして西洋医学も取り入れて、1920年（大正9年）「柔道の教授を為す者において打撲、捻挫、脱臼、骨折……」という内務省令が発せられ、柔道整復術が公認された。嘉納講道館の強力な支援によるところが大きかった。

嘉納が柔術諸流派の「殺法」の長を取り、創始した講道館柔道は「競技スポーツ」として、「活法」は「柔道整復」として発展している。

嘉納はIOC委員となり、大日本体育協会を設立し、1940年（昭和15年）東京オリンピック誘致に成功したが、第2次世界大戦のため中止となった。しかし、その遺志は引き継がれ、1964年（昭和39年）東京大会開催、そしていよいよ「TOKYO2020」を迎える。



第21回 行橋～別府 100キロウォーク救護活動報告

加藤 豪、江崎 博明、野田 光広
公益社団法人 大分県柔道整復師会

- 【はじめに】** 行橋～別府100キロウォーク実行委員会より大分県速見郡日出町保健福祉センターチェックポイントで令和元年10月13日(日)4：00～12：00まで救護活動の依頼があり公益社団法人大分県柔道整復師会13名で救護活動を行った。
- 【目的】** 100キロウォーク参加者を完歩させる事。
- 【対象】** 100キロウォーク参加者、日出町保健福祉センターチェックポイントで救護、処置を必要とされる方。
- 【方法】** 施術ベッド7台、テーピング、角綿、消毒液、ペーパー等を用いて救護、処置を行う。痛めた筋肉への施術、腰部、股関節、膝関節、足関節へのテーピングも必要に応じて行った。その際に完歩させる為の、声掛けや会話での精神的安心感の提供も行った。
- 【結果】** 第19回 行橋～別府100キロウォークでは229名の救護であったが、今回ではそれを上回る250名の救護を行う事ができた。(第20回は台風の為中止)
- 【まとめ】** (公社)大分県柔道整復師会では、上記の活動以外にも毎年行われている他の救護活動以外に、公益活動の一環として大分北部豪雨(2012)を始め熊本地震(2016)にも会員の災害派遣を実行しているが、スポーツの救護活動・コンディショニング・ケア活動を経て、柔道整復師、個人のボランティア活動の意識育成と参加を勧めている。
また近年、日本各地での大規模自然災害が多発しているが、災害時や非常時の際にも即時に対応し県民や行政の要請に専門的な知識とタフな精神を携えた柔道整復師の養成を目標として活動している。

ラグビーワールドカップ(RWC)2019 ニュージーランド(NZ) 代表のリカバリーケア

加藤 豪、江崎 博明、野田 光広
公益社団法人 大分県柔道整復師会

- 【はじめに】** 2018年10月にラグビーワールドカップ2019大分県推進課より本会にRWC2019大分大会に対する協力要請があった。
当初、NZより9月26日及び29日2日間、延べ18名セラピストの依頼があり、その後追加要請にて10月3日の10名の依頼があった。
- 【経過】** 事前に本会主催のスポーツケアセラピー講習会を技術情報の共有のため開催した。
参加団体：本会・宮崎県柔道整復師会・熊本県柔道整復師会 総数45名
講習内容：フィジー代表のコンディショニング及びケアを務める講師(本会会員)にケア及びオイルケアの指導を受けた。
ケアの注意事項や禁止事項のコンプライアンス管理指導も同時に受けた。
- 【結果】** 本会としては当初、NZより9月26日及び29日2日間、延べ18名の依頼がありNZチームから評判が良く追加要請があり10月3日の10名のケアを行った。延べ人数84名。
- 【考察】** 本会は国体を始め各種スポーツ競技に救護・コンディショニング等の協力をしているがRWCは世界大会の中でも特に人気のスポーツでありセキュリティが厳しくセラピー会場等が事前に漏れると天井にカメラ等のスパイ行動があるとの事で関係者にも一様に直前にならないと情報が入らなかった。
RWCトップチームから厳重な箱口令の為に大分県ラグビー協会も受け入れの準備は遅れて本会の準備にも影響を及ぼした。
しかし、本会は即日対応可能なケアセラピストの登録会員数が大分県会員・準会員42名・県外会員9名と、平日でも即対応できる団体であることが認知されたこと、またこのことが来年の2020東京オリンピック・パラリンピックへのステップになると考える。

RWCスポーツマッサージセラピー 講習会開催

令和元年9月8日(日)9:00より大分県整骨会館にて、ラグビーワールドカップ2019日本大会にむけてスポーツマッサージセラピー(SMT)講習会を開催。県内外より40名ほどの会員等が参加し、長尾淳彦日整学術教育部長出席のもと、講師：鶴原由隆会員(大分市ラグビー協会理事)による講習が行われた。SMTではラグビーワールドカップという特殊性、専門性、国際性が必要であるため、ベーシック的なものと、個別的に柔軟な対応が必要とされるものがある。今後想定される守秘義務がある事案について、対応、対処する実技等を講義していただいた。



実技講習風景①



実技講習風景②



参加者一同

令和元年度夏季学術公開セミナー開催

令和元年6月9日(日)9:00より整骨会館にて、会員、準会員等60余名の参加の元、日整総務部長三橋裕之講師による「柔整業界は平成の危機を脱したか」という議題で講演が行われた。続いて公開セミナーとして、穴井・秋篠両先生による日本赤十字救急法講習が行われた。午後より「国際柔道連盟試合審判規定及び安全指導」講習会及び学術・IT委員会を開催し無事終了した。長時間であったが実りの多い講習会となった。



三橋裕之先生



赤十字救急法講習風景



参加会員



別府市 尾林 大生

昭和54年生まれ40歳、開業12年目です。

令和元年5月に新理事として選ばれ、理事役員・事務局様の大変さをとても感じています。会の運営だけではなく外部への働きかけや、日本柔道整復師会とのやり取りなどを目の当たりにし、私などでお役に立てるのか心配になりました。

特に業界全体が改革の時期ですので個の利益より全体で足並みをそろえるために利他の意識を広げていかなければならないと学びました。それが自分たちの業を守りいつかは自分達のためになると感じています。

これから業界発展のため尽力していく所存でございます。まだわからないところが多くあり皆様にはご迷惑をかけるかもしれませんが会員皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら精進していきますのでよろしくお願いいたします。



日出町 加藤 たかし 豪

令和元年5月、杵築・国東・速見郡地区選出の理事に就任致しました加藤 豪でございます。私は平成22年10月に入会し、別府で開業し4年速見郡日出町に移転して5年が経ちます。入会した当初より(公社)大分県柔道整復師会並びに役員、会員の先生方には大変お世話になってきました。役員に就任しはじめて役員の

先生方のご苦勞や大変さ、自分自身の勉強不足を実感しており、これまで本会の運営並びに活動にご尽力頂いた先生方がおられたからこそ、今がある事だと改めて考えさせられます。

現在の柔道整復師業界は非常に厳しい現状ではございますが柔道整復師の方向性を見失わないように本会の業務を行って参りたい所存であります。

江崎博明会長はじめ前会長の加藤和信顧問が申されましたように今後10年15年の柔道整復師会が今後益々繁栄できますように、執念、忍耐、努力をもって取り組んでいきます。

最後に、まだまだ未熟ではございますが、会員の皆様、諸先輩方のご意見、ご協力を仰ぎ日々精進していきます。会員の皆様、宜しくお願い申し上げます。

第15回大分県整骨旗



江崎博明会長



開会式風景



穴井隆将先生による
柔道教室



安東鉄男 森一馬
会員による演武



大会風景

争奪少年柔道大会開催

(写真 佐々木昭仁 IT委員)

令和元年7月28日(日)9:00より、中津市総合体育館「ダイハツ九州アリーナ」にて第15回大分県整骨旗争奪少年柔道大会記念大会(第28回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会予選会を兼ねる)を開催した。本大会は県内26団体34チーム300人の参加があり、本会会員が全員で準備運営に関わっている。また今回は15回目で記念大会として、記念柔道教室を行い、本県出身の著名な穴井隆将先生によるユーモアあふれる指導は、参加選手にはよい夏休みの思い出の1ページになったことと思う。

個人戦は1年生より6年生まで各学年ごとトーナメント戦を行い、4,5,6年生より5名選出した選手が、10月14日講道館で開催される全国大会に出場することとなった。次に各道場対抗の団体戦が行われ、見事、初優勝は日田市少年柔道クラブA 準優勝 安心院柔道クラブ 3位 清錬館道場A 森道場Aとなる。敢闘賞は、高田少年柔道クラブ 佐伯柔道クラブ 安岐柔道クラブ 中津少年柔道クラブとなった。

また形競技の普及・発展のため、安東鉄男7段 森一馬2段両会員による「講道館護身術」演武が行われた。

※令和元年10月14日開催予定の「日整全国少年柔道大会」「日整全国少年柔道形競技会」は台風19号上陸のため中止となりました。



初優勝！日田市少年柔道クラブ



県代表選手



参加会員

第42回九州ブロック会柔道大会準優勝

写真 阿部幸広監事

令和元年7月13日(土)13時より宮崎県KIRISHIMAツワブキ武道館にて第42回九州ブロック会柔道大会が開催され昨年の4位からのリベンジ、見事に準優勝となる。

※令和元年10月14日開催予定の「日整全国柔道大会」「全国柔道整復師高段者大会」は台風19号上陸のため中止となりました。

団体戦 準優勝 大分県(16点) 優勝 熊本県(29点) 3位 福岡県(15点)

個人戦 20代 優勝(10点) 森 一馬 3位(3点) 堀 皓瑛

40代 3位(3点) 永竿茂男

特別表彰 ★5回表彰 森 一馬 梅崎孝次

【出場選手】 監督：国広幸治

審判員：森 政彦

50代：安東鉄男

40代：加藤 豪 重石雄大

酒井裕治 大谷直人

30代：星野誠二 梅崎孝次

近藤史章 井本佳太



参加会員一同



開会式 特別表彰



永竿茂男会員



森一馬会員



安東鉄男会員



大谷直人会員



酒井裕治会員



堀 皓瑛会員



重石雄大会員



星野誠二会員



近藤史章会員



梅崎孝次会員



井本佳太会員



清錬館道場 代表 重石雄大

整骨会館2階の道場をお借りして18年目を迎えようとしています。

元々は整骨院と併設で父が始めた清錬館ですが、道場の老朽化と近くに整骨会館の道場が出来たことがきっかけで、当時の清田会長に相談をしてお借りすることとなりました。

清錬館道場は、私からすると母方の祖父が埼玉県で始めた剣道場でしたが、開設後間もなくして脳梗塞を患い休止状態だったものを父が大分で柔道場として復活させたものです。それから40年以上になります。

私も父と共に指導者の一人として関わって参りましたが、父が体調を崩したことで、息子が柔道を始めたことをきっかけに正式に受け継ぎ7年目を迎えようとしています。

引き継いだ当時は、生徒も10名足らず、弱小チームで試合に行ってもは負け続ける。練習に行っても生徒が1名しか居ないという日もありました。

何かを変えなければ道場の存続が危ういと考え、まず道場に一番先に行って掃除をすることから始めました。少年スポーツの指導法やDVD、柔道関連の本を読み漁り、他道場へ稽古に出向いては勉強する。また、安東鉄男先生をはじめ諸先輩方のアドバイスを頂きながら、最新の理論やトレーニング法を学び保護者も巻き込んで道場で実践するという日々が続いているところです。

その成果かどうかはわかりませんが、今では生徒数も増え、全国大会に代表選手を派遣できることもできました。そして何より楽しく柔道に取り組んでいます。

「大人も子供も修行中」これからも試行錯誤とアップデートを繰り返しながら楽しく精進していこうと思います。



RWC2019 (ラグビーワールドカップ)を観戦して

理事 野田 光広

令和元年10月20日に昭和電工ドームでRWC準々決勝ウェールズ対フランス ワールドカップの試合を初めて観戦した。スコアは20対19でウェールズが1点差で逆転勝利。後半ひとり退場者を出したフランスが、最後に力尽き逆転トライを許した。なぜウェールズが勝ったのだろう。ラグビー普及率(競技人口÷人口)でみるとウェールズは3.6%、フランスは0.8%、ちなみに日本は0.23%、NZは3.32%、優勝した南アフリカ1.12%強豪国は概ねこのパーセンテージが高い。29.6万人日本のラグビー競技人口の増加が強化につながる。しかし日本では少子化の波は避けられず、今後ラグビーに限らずどの競技に於いても競技人口の減少は共通の悩みだ。

今大会は特に危ないプレイに厳しく笛が吹かれ、ラグビーは「紳士のする野蛮なスポーツ」であるため近年よりシンビン・退場が多くなっている。また頭部打撲を負った選手には即座に10分間の退場を命じ、少しでも脳震盪の疑いがあればそのまま退場となる。しかし我々が学生時代は大学ラグビーなどプレイ中脳震盪を起こしても「魔法の水」とか言ってやかんに入れた水を頭からかけてプレイに戻っていた。今では考えられない無茶なことがおこなわれていた。

これからはラグビーに限らずスポーツに於いては、外傷と障害の両方に医学的安全性を確立しなければならない時代になることだろう。次回RWC2023年開催地はフランスだ。



分整コラム

「日本社会医療学会 第20回記念学術大会」

令和元年10月26・27日(土・日)宮崎県延岡市の九州保健福祉大学にて本会役員6名の参加のもと「日本社会医療学会 第20回記念学術大会」が「令和時代の災害対策を考える～医療・介護・地域の交通網はどうなる～」を大会テーマに開催。

第1日目は奈須開生宮崎県柔道整復師会長の挨拶後、柔整専門部会の開会。本県 江崎博明会長が「スポーツ大会における救護活動について」のテーマで【ラグビーWCスポーツマッサージセラピー参加協力】の講演を行う。その後宮崎・熊本参加各県の現状について討論がなされ、活発な意見が交わされた。次に公開研修会が行われ、奈須康哲宮崎県会員による「スポーツ現場での応急処置について」と他職種3名の講演を行った。

第2日目午前 各専門職6名による個別発表と4名によるシンポジウム「令和時代の災害対策を考えるー各専門職の視点からー」・午後 持永秀毅先生による特別講演「災害への備え、いかに平時から住民生活の足を守るか」が行われ、大会が無事終了。

講演の中でも熊本県健康福祉局保健衛生部医療政策課長、中林秀和先生の講話「平成28年熊本地震時の熊本市における救護班の調整と受援の経験」で震災後に柔道整復師が活躍した報告内容もあった。

近年非常に災害が増加しており今回の学会で他職種、各専門職の方々が、今後起こりうる災害・防災・救護対策のために連携し貢献していることを聞き、「災害時・非常時」に我々が柔道整復師としてどのような社会貢献を行えるか、対策を講じるか、考えさせられた。



柔整専門部会



学術大会



参加会員

令和元年度 春季学術公開セミナー

令和2年2月16日(日)9:00より整骨会館にて会員等80余名の参加者のもと開催。江崎会長による会務報告後、住吉壽人会員・尾林大生会員・江崎仁準会員による論文発表が行われ、次に、佐藤和伸講師（日本柔道整復師会学術教育部）による「匠の技・伝承プロジェクトより・超音波観察装置による外傷と障害」等の講義に実技を交えてご教授下さった。（協力：㈱SSB）

午後より加藤和信顧問より講義「外傷性損傷の捉え方」も行われ有意義な学術研修となった。



講演風景



学術論文発表者



佐藤和伸講師

“夢”寄稿



…柔道整復師との出会い…

顧問 加藤和信

私が柔道整復師と言う制度職業を知ったのは20代の後半になっての事でありました。“灯台下暗し”とでも言うのでしょうか。あまりにも身近に存在したため柔道整復術を業として見る事ができませんでした。私の父は高校の教諭で体育の授業と柔道部の指導をしておりました。時折自宅に骨折や脱臼の患者が運び込まれて来ました。当時地域に整形外科医はなく骨折の整復後副木で固定、重度の場合は別府の整形外科医院に紹介し手術やギプス固定、除去後に後療を施していました。当時は大らかな時代で夜自宅に来る患者もいました。多くは授業の空いた時間や放課後保健室で養護教諭の先生を助手に治療を行っていたので、もちろんボランティアで料金などは無料でした。経過を観察する時は保健所に行き保健所長とレントゲンを観ながら検討したそうで、整形外科医の空白を補い重宝されていました。私が柔整師となり保健所の所長であった県の医官の先生とお話する機会があった時、当時の話をして頂きました。骨折脱臼の治療が主で捻挫は患者に湿布の作り方を指導し包帯の巻き方を教えていました。私は柔道の先生が治療法を体得していて、それを生かし人助けしていると思っていました。柔道整復師という治療資格があることも知りませんでした。無料で治療していましたので、盆暮れには漁師が魚をミカンや梨の収穫期には農家の方がみかんや梨の箱を持ってきました。後になり無償で治療を受けたお礼であったことを知りました。そんな父が退職の時期となり整骨院を開業しケガをした地域の人たちの治療に取り組みたいと一念発起しました。その時私は柔道整復師という資格があること整骨院と言うケガの治療の専門職施術所の存在を知りました。それから私も再度学校に入学、整骨院で研修を始めました。当時の修行は徒弟制度の名残もありましたが実践的な研修でした。住込みでしたので朝食前に皆で院内の掃除や院の前の道路を掃き打ち水をして患者を待つ準備を整えました。近所の方たちはそんな私たちを書生さんと親しみを込めて呼んでくれました。一年目の仕事は院長や先輩の先生がほどいた包帯を巻き易い状態に準備すること湿布を作成することでした。最初は追い付かず先輩方に助けてもらっていました。やがて準備が素早くできるようになると患者の包帯を外すことも仕事になりました。これが良い勉強になります。包帯巻きは学校で習った定型の方法でなく患者に合わせた巻き方でケガの状態でも強さも変化をつけていました。包帯を外しながらそれを感じとるのです。三年目になると日曜日など院長の留守番を任せられます。私の初めての留守番時骨折患者がきました。震えるような緊張を覚られないよう汗だくの治療だったのを覚えています。翌日患者が再来した時はほっとしました。きちっとできていると院長に褒められたこと忘れられません。そんな自分が柔道整復師会として故郷で開業40余年今日に至っています。この間業界は大きな環境の変化がありましたが地域の人々のケアに取り組む重要な職域であることに変わりはありません。高齢化社会に突入し益々必要とされる職域があります。若い柔道整復師も増えております。老兵と若い力を合わせ柔道整復術で地域貢献していきたいと気持ち新たにしています。

大整会(本会ゴルフ部)だより

— STAY DREAM —

恒松 史会員

2019年の大整会では第71回ゴルフコンペ(3月17日)の開催から第74回ゴルフコンペ(11月17日)まで今年4回開催いたしました。メンバー全員が日頃の練習の成果の発揮と自己ベスト更新を目指しゴルフコースで孤軍奮闘しながら楽しいひと時を過ごしました。

また、昨年に引き続き今年も宮崎県柔道整復師会会員の先生方にも3回にわたりご参加いただき県境を越えての交流を深め有意義な時間を共に過ごすことができました。ぜひ来年度以降も継続していきたいと考えております。

～追記～

大整会では随時メンバーを募集しております。不定期ではありますが年に4回～5回コンペを開催しておりますのでゴルフ初心者の方から久しぶりにラウンドされる方までどうぞお気軽にご参加ください。



第71回大会 H31.3.17 別府GC鶴見コース



第72回大会 R元.5.12 延岡GC
(第1回東九州ブロックゴルフ大会兼ねる。)



第73回大会 R元.10.6 別府の森GC



第74回大会 R元.11.17 別府GC由布コース

流鏝馬神事

相談役 西邑伊三郎

令和元年8月1日、八幡総本官 宇佐神宮において天皇陛下御即位奉祝が奉納されました。宇佐神宮で725年の創建以来初めてです。【宇佐夏越祭り】の一環行事として流鏝馬を祭りの目玉として毎年実施する予定。

小笠原流の射手が70メートル間隔に設けられた三つの的に矢を射る、その的に矢が当たりの音が割れた瞬間。



小笠原流の射手が馬上で氣勢をあげて、的に向かい矢を射る。



小笠原流射手

— 夢 Gallery —

「べっふ鶴見岳一気登山」ボランティア担当会員より一言



別府地区会員 山内 一

私達別府地区会員は、「べっふ鶴見岳一気登山」大会に第一回大会より三十余年に亘りボランティアとして参加してまいりました。清田顧問が理事として献身的に努めてこれ私も山岳会の実行委員として参加しておりました。私も齢七十に至りボチボチ引退かと考えておりましたところ、清田先生より柔整師会から理事として参加するように御指示があり、加藤前会長にもお話したところ、君しかないだろうと言われ、お引き受けすることになりました。この後は、清田先生、竹野先生、中島先生と共に力をつにし、登山道を駆け上がり、また駆け下りて一気登山参加者の皆様の安全に、救護にと力を尽くしてまいりたいと考えております。ただ四人のうち二人は古希を過ぎ一日も早い若返りも避けて通れない道だと考えています。最後になりましたが、江崎会長、各副会長、理事、会員の先生方の御加勢を賜りながら、より一層の体制を築いていけたらと考えております。

業界説明会

令和2年1月16日、大分医学技術専門学校にて、松岡保九州ブロック会長・江崎博明会長・鎌田実信副会長による「業界説明会」が、柔道整復師学科3年生に開催された。



講師：松岡 江崎 鎌田先生



説明会風景

学生コラム

夢に向かって

大分医学技術専門学校
柔道整復師科3年

渡邊仁香



私は小学校から7年間バレーボールをしていました。これまで沢山の怪我を経験し、その度に柔道整復師の先生方に助けて頂いたことで、この職業に憧れ、私の夢になりました。将来は、外傷や慢性的な痛みを和らげるだけでなく患者さんとのコミュニケーションを大切にし、心のケアもできる柔道整復師になりたいです。

私たちは今、国家試験合格に向けてクラス全員で日々勉強に取り組んでいます。試験の形式が変わり、思うように点数が取れない時もありますが全員で協力し、それぞれの夢に向かって頑張っています。

就職してから実際に現場に出て、沢山の経験を積み、自分の思い描いた柔道整復師になるためにも日々努力を怠らないようにしたいです。

3年間、熱心にご指導してくれた学校の先生方、学校に通わせてくれた両親、励まし合い支えてくれたクラスの友達に感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって進んでいきます。

整骨の知恵

～伝統医療で健康に～

2019年4月26日(金)朝刊掲載

大分大学名誉教授・大分医学技術専門学校校長 島田達生氏執筆

整骨の知恵

伝統医療で健康に

□ 随時掲載 □

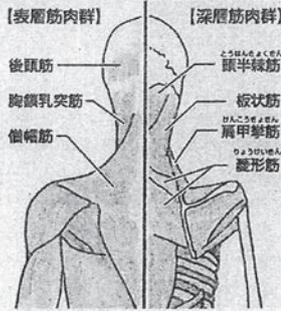
長時間パソコンで作業をする人や勉強する学生の中には、首の痛みや頭の痛に悩んでいるのではないだろうか。首の太さは首の筋肉の発汗に関

首の筋肉、頭痛と関係

不自然な姿勢、血流障害に

係します。男性の方が太いので、女性に首の痛みが多いのが特徴です。古来のエジプトやギリシャでは、男性は筋骨隆々、女性は細長い首が美しいと象徴として考えられて

首の回りの筋肉

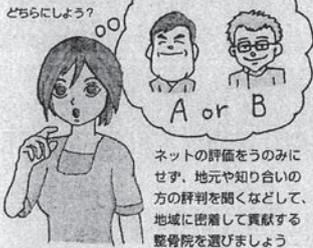


めに長くなります。首長の頸椎は他の人比べて大きいため、長時間の間首を動かさずにいると、首の回りの筋肉が硬くなり、血流障害が起きて頭痛の原因となります。美しい首の美観を損ねては、首の回りの僧帽筋や胸鎖乳突筋を多く伸ばすのを避けたいです。また、長時間の間同じ姿勢で首の筋肉

2019年5月17日(金)朝刊掲載

前会長 加藤和信氏執筆

整骨院の選び方



整骨の知恵

伝統医療で健康に

□ 随時掲載 □

柔道整復師は医師や看護師と同様に医療に携わる国家資格の一つで、筋肉、関節や運動器の本古来の武道の知見に、問題が痛みの原因にな

規制緩和で有資格者増

臨床経験少ない開業も

する専門学校などが増加し、有資格者が増えたことがあります。開業して現場で活躍できるようになるには臨床経験が重要なのですが、新しい有資格者を受け入れる整骨院が不足しているのが現状です。十分な臨床経験を積みませんが開業していきなり整骨院が立ち上がるような地域も見られます。このような事態は治療の質の低下を招く懸念があります。

最近ではインターネットによる広告が増えていますが、インターネットを利用した本来的な開業から外れます。医師は利益主義を定めてはなりません。患者さんが改善したと比べて、地域で一番多く見られるのは、インターネットの評価をのみならず、地元や知り合いの方の評判を聞き、地域に密着して貢献する整骨院を選びましょう

長 島田達生

2019年5月24日(金)朝刊掲載

前会長 加藤和信氏執筆

整骨の知恵

伝統医療で健康に

□ 随時掲載 □

骨折や脱臼、打撲、捻挫など外傷の手当では、整骨院(接骨院)の柔道整復師(国家資格)が得意とする分野です。切開手術をする整形外科と異なり、伝統医療を基礎とした無血治療を行います。柔道整復師は明治時代以降、2度の存続の危機を乗り越えました。2002年に世界保健機関(WHO)から「ジュウドウセラピー」として認定され、その知恵は世界に広がっています。

最初の危機は明治維新直後です。社会制度の近代化の影響もあり、国は1881年に漢方医学と東洋医学を廃止する命令を公布しました。しかし、存続を望む多くの国民の支えもあり、1920年の規制改正により、日本古来の施術法「柔道整復

運動器の健康保つ方法

継続し今後につなげて



令部(旧)の統治時代から格闘技の一つとして国民の支持を受けている。柔道整復師は柔道整復術を学ぶ学校制度の基礎をつくりました。

柔道整復師会は柔道整復術を守り発展させて、国民の健康維持、地域医療に貢献することを大きな目的としています。高齢化時代を迎え、運動器の健康を保つことは健康寿命を延ばすためにも重要になります。

これまでの運動で筋肉や骨、関節などの運動器の健康法や改善法を紹介してきました。手軽にできる運動も多いです。継続は力なりです。継続は力なりです。継続は力なりです。

長 加藤和信

新入会員紹介

Run For Dream

- ①施術所名
- ②住所
- ③電話番号



なか しま しょう た
中島 祥太

- ①中島整骨院
- ②別府市浜脇2丁目5番1号
- ③0977-85-8300



いし へ ち なつ
石部 千夏

- ①えきすい鍼灸整骨院
- ②宇佐市大字江須賀2748-53
- ③0978-38-7323



ひら た やす ひろ
平田 康博

- ①ひらた整骨院
- ②大分市明野高尾4-3-10
- ③097-507-2104



はま なか ひで あき
濱中 秀彰

- ①つる整骨院
- ②大分市大字三芳1985-3
- ③097-507-0123



公益社団法人 大分県柔道整復師会

令和2年2月 発行



〒870-0921
大分県大分市萩原4-8-58 大分県整骨会館
TEL 097-503-3334 FAX 097-503-3338
<http://www.seikotsu-oita.jp/>

発行者 江崎博明
印刷 株式会社インタープリント
TEL 097-582-1122

【整骨“夢”おおいたは平成22年創刊号より最新号までホームページにて閲覧できます】

〈表紙の解説〉

今回の表紙は、一目見て「大分県の柔道整復師会の広報誌だな!？」とわかっていただけるようにと考え以前と構成を変えて作成しました。写真は記事に掲載したものと、会員が余暇に撮影したものになっております。

編集後記

最後までお読みいただきありがとうございます。

今号は、輝かしい加藤和信顧問の旭日双光章受章・帰一功労賞受賞。「一生に一度」のRWC大分大会で大成功となった柔整の活躍。それぞれが私たちの「栄光の架け橋」のようなトピックだと感じます。掲載された記事は、氷山の一角で水面下では膨大な資料があり、特に写真は数多くあり永遠の一瞬を選ぶのは大変悩まされました。またテーマに沿ってコラムをお願いし、快諾いただいた会員の皆様に心から感謝いたします。どれも大変素晴らしく充実した夢おおいた11号になったのではないかなと思います。

今回初めて広報部長となり痛切に感じたことは、前任の野田副会長のこれまでの軌跡がどれだけ苦勞なされたのかということでした。広報誌だけでなく周年記念誌などは本会の歴史がわかる仕上がりになり改めて尊敬の念を抱きます。先生の敷かれたレールの上を脱線することなくご指導を仰ぎ継承させていただきたいと思っています。

最後に至らないところが数々あると思います。何卒、皆様のご指摘と応援を心からお願いいたします。
(広報部長 前川羊介)

—Myself—

大分県柔道整復師会 会員施術所 (176箇所)

※令和1年12月31日現在

中津市 (14)

整骨・接骨院名	電話番号
あおば整骨院	0979-64-6074
いき整骨院	0979-53-9517
江崎整骨院	0979-24-6978
えびす堂整骨院	0979-64-6062
奥田整骨院	0979-22-1937
坂本整骨院	0979-23-9708
さやもと整骨院	0979-77-5899
住吉鍼灸整骨院	0979-52-3558
整骨院たいよう	0979-64-7880
せんだい整骨院	0979-23-8256
たまき整骨院	0979-24-0720
東洋療法整骨院	0979-24-3291
友松整骨院	0979-24-1697
なかつ整骨院	0979-53-9242

宇佐市 (10)

整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0978-33-3770
いもと鍼灸整骨院	0978-32-5581
宇佐整骨院	0978-33-1961
えきすい鍼灸整骨院	0978-38-7323
さとう整骨院	0978-37-2872
永岡整骨院	0978-33-2210
ながさお整骨院	0978-44-1337
名倉堂長岡整骨院	0978-38-5866
南整骨院	0978-38-0446
吉成整骨院	0978-33-3301

日田市 (10)

整骨・接骨院名	電話番号
いけなが整骨院	0973-28-5716
いわき整骨院	0973-28-6900
大谷整骨院	0973-25-5711
きよた整骨院	0973-24-7232
たかはし整骨院	0973-22-9898
手嵐整骨院	0973-24-0439
西邑整骨院	0973-22-4345
日田やどり木整骨院	0973-30-6465
ひのくま中央整骨院	0973-22-2013
森山整骨院	0973-22-1151

玖珠町 (2)

整骨・接骨院名	電話番号
河野整骨院	0973-72-0309
くす整骨院	0973-77-2522

竹田市 (3)

整骨・接骨院名	電話番号
いりえ整骨院	0974-64-4300
宇都宮整骨院	0974-63-0217
千房整骨院	0974-62-2110

豊後大野市 (2)

整骨・接骨院名	電話番号
杉田整骨院	0974-22-6987
森 整骨院	0974-22-5123

豊後高田市 (3)

整骨・接骨院名	電話番号
さかい整骨院	0978-24-3995
さとみ整骨院	0978-22-3523
たかだ整骨院	0978-22-1710

杵築市 (4)

整骨・接骨院名	電話番号
江藤接骨院	0978-63-2051
住吉整骨院	0978-62-3164
田辺整骨院	0978-63-2377
森整骨院	0978-62-5341

日出町 (4)

整骨・接骨院名	電話番号
えとう整骨院	0977-72-3011
かとう整骨院	0977-75-9655
河野整骨院	0977-72-2319
みぞへ鍼灸整骨院	0977-72-6343

大分市 (65)

整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
つめくさ整骨院	080-4698-2898	あおき整骨院	097-578-8424
つる整骨院	097-507-0123	あけの整骨院	097-558-2216
てあてんはぎわら整骨院	097-503-1110	あべ整骨院	097-545-6459
長野整骨院	097-546-3930	安部整骨院	097-538-0369
中村整骨院	097-567-5255	いまごころ整骨院	097-558-5885
中村整骨院	097-523-0230	飯田整骨院	097-543-5173
長浜みらい整骨院	097-538-3567	今井慶整骨院	097-532-0686
なごみ整骨院	097-574-5421	上野の森整骨院	097-544-6070
なのはな鍼灸整骨院	097-552-9699	うえもと整骨院	097-576-8587
なみつ鍼灸整骨院	097-578-7300	大分いきいき整骨院	097-500-7058
のぞみ整骨院	097-574-9915	大分ごとう整骨院	097-535-0600
野田接骨院	097-567-5680	大分整骨院	097-535-0201
白整骨院	097-597-1125	おおざい整骨院	097-592-5050
狭間整骨院	097-592-1713	おおみち整骨院	097-573-6446
Hanaはりきゅう整骨院	097-558-8911	かえで整骨院	097-592-5435
ひだまり整骨院	097-547-9728	春日浦整骨院	097-533-2777
ひびの整骨院	097-576-8107	かたしま整骨院	097-578-7121
ひらた整骨院	097-507-2104	活 整骨院	097-593-1212
へつぎ整骨院	097-597-5722	活整骨院 大分院	097-532-5800
堀接骨院	097-575-2356	国広整骨院	097-541-4122
美やび館鍼灸整骨院	097-578-8225	健栄堂スポーツ大分整骨院	070-5480-0259
みんなの鍼灸整骨院	097-574-5942	健栄堂接骨院	097-522-4922
むなかた整骨院	097-542-7055	健栄堂はりきゅう整骨院	097-574-8252
やの整骨院	097-545-9119	ココロ整骨院	097-574-6668
ゆふらぎ接骨院	097-537-2531	小林整骨院	097-545-0328
よつば整骨院	097-529-7922	坂本接骨院	097-544-3627
若草整骨院	097-574-7755	ささき整骨院	097-547-9877
わさだ甲斐整骨院	097-541-2119	三光整骨院	097-578-7735
		しおい整骨院	097-542-5333
		重石整骨院	097-551-0399

由布市 (6)

整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
阿部整骨院	097-582-0881	清水整骨院	097-547-8333
えとう鍼灸接骨院	097-583-5570	首藤整骨院	097-544-2866
おきた整骨院	097-583-5430	首藤整骨院	097-567-7112
杉田整骨院	0977-84-2803	鍼灸整骨院Yutaka	097-573-6661
野田整骨院	097-583-0515	杉田整骨院	097-552-7037
狭間整骨院	097-583-4970	調和整骨院 南大分	097-546-4970
		津崎整骨院	097-542-3335

国東市 (3)

整骨・接骨院名	電話番号
加藤整骨院	0978-72-4298
さこの整骨院	0978-67-0019
やすまつ整骨院	0978-72-4266

別府市 (35)

整骨・接骨院名	電話番号
あべしょう整骨院	0977-26-3518
あんどう整骨院	0977-75-9777
衛藤整骨院	0977-67-2920
尾林整骨院	0977-27-3150
十八番接骨院	0977-75-9166
かがやき整骨院	0977-27-5112
清田整骨院	0977-25-6222
くどう鍼灸接骨院	0977-24-3218
クローバー 整骨院あさひ	0977-75-9671
クローバー 整骨院かわの	0977-21-7799
後藤整骨院	0977-23-3686
こんどう整骨院	0977-24-9111
末広整骨院	0977-24-9430
杉田整骨院	0977-67-3663
接骨院大別府清水	0977-23-7107
竹野整骨院	0977-66-5161
武原整骨院	0977-66-5730
帯刀接骨院	0977-21-8951
たんぼぼ整骨院	0977-67-3040
土谷接骨院	0977-21-6452
つねまつ整骨院	0977-25-7675
中島整骨院	0977-85-8300
仲町整骨院	0977-66-3933
西整骨院	0977-22-0743
浜脇整骨院	0977-22-7856
林整骨院	0977-25-2628
にしむらはりきゅう整骨院	0977-22-6347
はなだ整骨院	0977-23-5737
ふじや整骨院	0977-22-6506
裕大整骨院	0977-26-1275
山内整骨院	0977-25-5580
ゆう整骨院	0977-75-9600
渡辺整骨院	0977-67-4275
渡辺整骨院	0977-67-8538
わたなべ整骨院	0977-85-8528

臼杵市 (4)

整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0974-32-3282
今村鍼灸整骨院	0972-63-3350
うすき八町整骨院	0972-62-5525
三愛鍼灸整骨院	0974-32-7353

津久見市 (2)

整骨・接骨院名	電話番号
堅田整骨院	0972-82-8763
つくのみ倉整骨院	0972-83-5656

佐伯市 (9)

整骨・接骨院名	電話番号
鎌田整骨院	0972-22-0684
菅整骨院	0972-27-6384
くにも整骨院	0972-22-5563
さいき倉整骨院	0972-24-1617
とがむれ整骨院	0972-24-0850
野田整骨院	0972-23-6834
藤本整骨院	0972-42-1275
水沼整骨院	0972-24-8011
やよい整骨院	0972-46-1753